

会長： 児島裕明
 直前会長： 奥山二三男
 会長エレクト： 川端芳孝
 副会長： 西澤清正
 幹事： 杉本定幸
 会計： 西村正司
 SAA： 青山憲三
 クラブ会員担当理事： 法村賢仁
 クラブ広報担当理事： 樋口英彰
 クラブ管理運営担当理事： 杉原祥浩
 奉仕プロジェクト担当理事： 菊川太嗣
 国際奉仕担当理事： 後藤道博

Rotary



第2650地区

彦根南ロータリークラブ

No.27 2015年2月10日(TUE) 第1768回例会 Vol.38

認 証 : 1978年6月15日
 例会日 : 毎週火曜日 12:30~13:30
 例会場 : ビバシティホール
 〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43-1
 TEL 0749-27-5170 (代)

事務局 : 〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町160-4
 : TEL 0749-23-2102 / FAX 0749-23-2108
 URL : http://hikoneminami-rc.com
 E-mail : minami-rc@oregano.ocn.ne.jp
 第2650地区Web : http://rid2650.gr.jp



「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

「ロータリーは心くばり」

RI2650地区ガバナー 北河原 公敬



彦根南ロータリークラブ

児島裕明会長テーマ

「ロータリーの誇りと感謝」

～おかげさま～

本日のプログラム

彦根市少年センター「あすくる彦根」の活動について
 彦根市少年センター職員 寺村佳子先生
社会奉仕委員会担当

- プログラム -

開会点鐘
 ロータリーソング
 「四つのテスト」
 「我らの生業」
 ゲスト紹介
 食事・自由歓談
 会長の時間
 各種お祝い
 幹事報告
 委員会報告
 SAAの時間
 ニコニコBOX
 出席報告
 例会タイム
 閉会点鐘

お祝い



ご夫人誕生日お祝い

青山憲三君	
ご夫人 加代子さん	2月 3日
所庄五郎君	
ご夫人 啓子さん	2月 5日
田村芳宏君	
ご夫人 みどりさん	2月 5日
野村郁雄君	
ご夫人 澄子さん	2月 7日
棚橋博司君	
ご夫人 幸子さん	2月 8日
杉原祥浩君	
ご夫人 ひろみさん	2月14日
川端芳孝君	
ご夫人 美智子さん	2月18日
三木愛雄君	
ご夫人 知子さん	2月21日
藤居富造君	
ご夫人 悦子さん	2月25日
佐藤公彦君	
ご夫人 ひろ子さん	2月27日

メイクアップ情報

2月12日(木) 彦根RC
 場所：彦根ビューホテル
 2月13日(金) 長浜東RC
 場所：北ピワコホテルグラツィエ
 2月16日(月) 長浜RC
 場所：北ピワコホテルグラツィエ
 すべて 12:00~12:30



本日のピアノ演奏曲

～洋画主題歌 (JAZZ)～

1. マイ・フーリッシュ・ハート
「マイ・フーリッシュ・ハート」より
作曲 ヴィクター・ヤング
2. 酒とバラの日々
「酒とバラの日々」より
作曲 ヘンリー・マンシーニ
3. オール・ザ・ウエイ
「抱擁」より
作曲 ジミー・ヴァン・ヒューゼン

前回例会報告



第1767回例会は、カラーコーディネーターの田中絹子様をお迎えして『カラーのちから』と題して卓話をしていただきました。田中様は以前、建築関係の仕事をされていてインテリアのカラーが人間に影響があるとの見解を持たれ、現在の仕事に辿り着いたそうです。私たちの身の回りの物には、すべて色がついていて、例えば、信号機など慣れてしまえば一目見ただけで無意識に判断して行動しているように知らない間に色に行動を誘導されているそうです。色には、それぞれの感覚があり、時間が短く感じる暖色や、逆に時間が長く感じる寒色などがあり、その『時間感覚』は仕事の上でも生かされているそうです。また、売れる売り場づくりでは、商品の中に1割程度赤いものを置くと、良く売れる売り場になると言われていて、空間心理学では、人は左奥に一番に意識が行くと言われ、左の奥に赤いものを置くとたくさん物が売れるそうです。色は、『心理的影響』『生理的影響』『感情的影響』『文化的影響』があり、生理的影響として、明るい赤は交感神経に刺激を与えて血圧を上げ、逆に青や緑はリラクセスさせる効果があるそうです。文化的影響として、西洋文化では黒は死を象徴し、東洋では白が死を象徴しています。また同じ赤でも日本では朱赤が好まれますが、中国では青みを含む紫赤だそうです。また、松本会員に協力いただいて、0.2秒で似合う似合わない色を判断し、背広やネクタイで実践していただきました。四季によって似合う色があり、春は黄みがかかった明るい色、夏は青みがかかった優しい色、秋は黄みがかかった深みのある色、冬は青みがかかったはっきりした色が似合うそうです。身近なスーツやネクタイなど、色の力を利用して生活を楽しむ余裕が欲しいものです。



ニコニコ箱 計43,000円 総計1,784,000円

- ◇カラーコーディネーター田中様をお迎えして。松本隆君の松金工業(株)代表職を勇退されて…児島君
- ◇卓話に田中絹子様をお迎えして、よろしく願います…西澤君・橋川君・櫻本君・伊勢田君
- ◇田中絹子様の卓話を楽しみにしています…喜多君
- ◇ニコニコの協力で感謝…青山(憲)君
- ◇誕生日を祝って頂いて。田中絹子様をお迎えして…上田君
- ◇先日は児島会長はじめありがとうございます。今年も受験生726名10年間定員オーバーです。ありがとうございます。入会記念日を祝っていただいて…松本君
- ◇誕生日自祝…渡邊(孝)君・佐藤君
- ◇入会記念自祝…杉原君・樋口君
- ◇米山BOX…児島君・松本君・後藤君・橋川君・櫻本君・西山君

誇り



『感謝』

クラブ広報委員会担当理事 樋口 英彰

感謝という言葉でまず思い浮かべるのは、オヤジの顔です。いつも怒ったような顔をして、気に入らなかつたら、クライアントでも平気で叱り飛ばすような人でした。社会保険労務士という当時創設されて日の浅かった業界に飛び込み、それこそゼロからのスタートだったと聞いています。オヤジのおかげで、また、社会保険労務士という仕事で私の家族は毎日その糧を得、私自身は一人前に学生生活を送り、社会人になりました。

私は当時、そんなことを考えられるわけもなく、ただぼんやりと自分もオヤジのやっている“ラクに見える仕事”を自分もやってみようと思ったのですが、これが仕事を、そして社会をあまりにも舐めきった考えであったことは皆様のご想像の通りで、今に至るまでそれなりの苦労は経験しました。

そのうえで今「感謝」という言葉を考えたとき、オヤジの顔が思い浮かび、そして社会保険労務士という仕事に対して、またその仕事に関係するすべての人（お客様、事務所スタッフ、同業の先輩諸氏等）に感謝できるようになりました。そして仕事を一生懸命することがお客様や、スタッフへの感謝のしるしになり、自分を育ててくれた社会保険労務士の業界に何かお返しすべきとの考えから、滋賀県社労士会の理事になって8期16年経ち、任期ごとにそれなりの役割を担ってまいりました。少しはお返しができた、滋賀県社労士会第2代会長を務めたオヤジに胸を張れそうな気がします。（いい気になると怒られそうですけど。）

最後に、1番大事なのは家族への感謝です。家庭での毎日が安定しているからこそ、仕事に打ち込めることを、今日も実感しています。（締めはこれで決まりですよ。）



2月17日プログラム

「男の美と健康」

アルソア幸樹(さちのき)代表

ビューティーカウンセラー雁子由佳理氏
プログラム委員会担当

2月24日プログラム

「滋賀のラジオを担当して」

エフエム滋賀 e-radio パーソナリティ 井上麻子氏
プログラム委員会担当

例会出席報告

	会員数	当日出席	メーキャップ	出席率
2月3日	64(11)	41(7)	5	77.96%
1月20日	64(11)	48(8)	7	93.44%